

## 報告事項 1 令和5年度事業報告

### 令和5年度 重点課題・重点事業（事業報告）説明資料

#### 重点課題：

- 1 看護の機能強化
- 2 専門職としてのキャリア継続支援
- 3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
- 4 地域における危機管理体制の強化

#### 課題：日本看護協会等との連携の中で取り組みを継続する事業

- 1-1 日本看護協会が推進する「看護師基礎教育4年制化への制度改革」推進協力事業
- 1-2 ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築の理解と推進協力事業
- 1-3 准看護師制度が持つ課題の共有事業
- 1-4 政策推進力の強化事業
- 1-5 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」事業の理解と協力事業

#### 重点事業：

- 1-1 地域包括ケアシステムを支える看護機能強化の推進事業
- 1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業
- 1-3 看護職出向支援事業
  
- 2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業
- 2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業
- 2-3 継続教育の充実事業
  
- 3-1 特定行為研修・JNA ラダーの普及推進事業
- 3-2 感染管理認定看護師養成確保事業
  
- 4-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備
- 4-2 感染症対策の整備

## 1 看護の機能強化

### 1-1 地域包括ケアシステムを支える看護機能強化の推進事業

#### 実施内容

- 1 地域包括ケアの実現を支える多職種連携活動事業の推進
- 2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進
- 3 香川県地域包括ケアシステム学会の開催団体(担当)としての取り組み

#### 成果(進捗報告)

- 支部理事等が市町の会議等に参加し、地域の実情を把握
- 理事会での支部活動報告により、活動を共有
- 会員及び関係団体との連携のもと学会を運営することができた

## 実施内容

### 1 地域包括ケアの実現を支える多職種連携活動事業の推進

- 1) 病院や診療所、訪問看護ステーション、行政等の看護職や他職種と連携し、地域連携を推進した
  - ①支部理事が、市町の会議等の実施状況等を把握し、会議等に積極的に参画
  - ②地域の実情に即した支部活動の実施
  - ③交流会の開催やコミュニティ活動へ参加

### 2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進

- 1) 理事会において活動内容を報告し情報共有を図った
- 2) 理事会報告時の資料をホームページに掲載し、支部活動の共有及び周知を図った

### 3 香川県地域包括ケアシステム学会の開催団体(担当)としての取り組み

関係団体と協力して開催した

- ①開催日：12月10日（日）
- ②会 場：レクザムホール4階大会議室・5階多目的大会議室「玉藻」
- ③テーマ：わが街で自分らしく暮らす ―ご当地システムを考えよう―
- ④参加者：274名
- ⑤その他：第3支部理事が支部活動の取り組みを報告

- 1 看護の機能強化  
1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業

実施内容

- 1 人材育成及び資質向上  
2 訪問看護総合支援活動の推進  
3 施設等看護職の資質向上とネットワークの推進  
4 職能活動のPR

成果(進捗報告)

- 訪問看護師養成講習会の開催
- 訪問看護ネットワークセンターとともに、訪問看護総合支援センター機能の一部を担った
- 研修・検討会を開催し、施設等看護職の資質向上とネットワークの推進及び職能活動のPRを実施

実施内容

1 人材育成及び資質向上

訪問看護師養成講習会の開催

訪問看護養成講習会は、eラーニングを6月17日から、集合研修は7月15日から開始した  
18名が受講し、16名が修了した

訪問看護ステーション実習は半日2日間実施した

管理者研修は2回実施し、7月30日災害に関する研修は30名受講、10月14日管理者研修は21名受講した

2 訪問看護総合支援活動の推進

訪問看護ネットワークセンターとともに、訪問看護総合支援センターの機能を発揮するため、関係機関等と連携し、情報発信・情報共有を図った

3 施設等看護職の資質向上とネットワークの推進

- 1) 介護施設における看取りガイドラインについて、在宅及び訪問看護ステーションを含めた施設においても活用できるガイドラインとなるよう検討を行った
- 2) 高齢者施設における看取り等について、「介護施設における看取り」研修及び交流会を12月3日に開催し、31施設から38名の参加があった。交流会では、ACPを進めていくことの必要性や所属施設の現状・課題について意見交換を行った

4 職能活動のPR

研修会開催時に看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）の活動や、看取りガイドラインの紹介などにより周知を行った

- 1 看護の機能強化  
1-3 看護職出向支援事業

#### 実施内容

- 1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み
- 2 看護職出向支援推進への取り組み

#### 成果(進捗報告)

- 助産師出向8か月継続実施、研修目的出向新人助産師1人が17日間実施
- 産科標榜施設対象に調査を実施(院内助産・助産師外来・助産師出向等)

#### 実施内容

##### 1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み

- 1) 偏在是正目的及び研修目的出向の実施  
偏在目的出向：小豆島中央病院へ、香川大学医学部附属病院より4名が1か月～3か月出向  
研修目的出向：さぬき市民病院から屋島総合病院へ1名2か月に亘り延べ17日間出向
- 2) 産科医療機関に対しニーズ調査を実施  
12月産科標榜施設18施設に実施し、結果を助産師出向推進協議会にて報告
- 3) 法的責任を踏まえた助産記録についての研修会実施（47名出席）

##### 2 看護職出向支援推進への取り組み

- 1) 訪問看護従事者の確保のための看護職出向支援を実施  
コロナ禍での人材不足で出向が推進できなかった

2 専門職としてのキャリア継続支援  
2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業

実施内容

- 1 看護職員の処遇改善の推進
- 2 看護職の勤務環境改善の推進

成果(進捗報告)

- 看護職の処遇改善に関する実態調査の実施
- 看護職の働き方改革を推進するため、看護補助者との協働を目的に説明会や体験会を開催

実施内容

1 看護職員の処遇改善の推進

1) 看護補助者との協働

看護補助者の活用推進のためハローワーク高松において、就職コーディネーターから8月1日(火)13時~14時『お仕事説明会』を行い、6名参加した  
看護補助者の『お仕事体験会』を屋島総合病院にて、8月22日(火)10時~12時に開催し、5名の参加があった

2 看護職の勤務環境改善の推進

- 1) 看護職の時間外労働に関する実態調査を10月5日~11月4日まで実施し、結果は、広報誌で令和6年8月報告予定

2 専門職としてのキャリア継続支援  
2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業

実施内容

- 1 ナースセンター事業の機能強化
- 2 看護の魅力等普及活動
- 3 看護職の離職時の届出制度の活用推進
- 4 地域医療体制に向けた看護職の確保

成果(進捗報告)

- 看護職員対象の就職説明会をオンデマンド配信し、県内病院等の情報提供
- 中・高校生等にふれあい看護体験・看護の出前事業を実施し、看護の魅力を普及
- 看護力再開発講習会(基本コース・看護基礎技術コース)を開催し、就労支援

実施内容

1 ナースセンター事業の機能強化

- 1) ナースセンター・サテライト相談(ハローワーク高松・丸亀・観音寺)を実施した
- 2) 就業支援コーディネーターによる施設訪問を8回実施した
- 3) かがわナースナビにより看護関係の最新情報を提供した
- 4) 看護職員を対象とした就職説明会をオンデマンド配信(令和6年1月15日～3月31日)で実施した(42施設参加)
- 5) 7月～9月に看護職員確保状況調査を医療機関87施設(回答75%)と看護教育機関19校23科(回答100%)に実施した
- 6) 新人看護職員対象研修の中でナースカフェ(5月23日)を実施
- 7) 看護のお仕事応援フェアを3月16日開催、参加施設は27施設、参加者は20名であった

2 看護の魅力等普及活動

- 1) 中・高校生等を対象にふれあい看護体験を22施設が実施し、133名の参加があった
- 2) 「いのちのせんせい」として、7月11日～2月19日に延べ80校に助産師を派遣

3 看護職の離職時の届出制度の活用推進

- 1) ナースセンターからのお知らせ(年2回:4月、10月かがわ看護だよりに掲載)によりPRした
- 2) NCCS、届出支援システム「とどけるん」の管理運用を行った

4 地域医療体制に向けた看護職の確保

- 1) 感染管理認定看護師、潜在看護職のIHEAT登録等により看護職を確保し、派遣調整を行った
- 2) 潜在看護師の就労支援のために看護力再開発講習会を開催した  
基本コース2回(7月・1月)、看護基礎技術コース5回(8月～12月)開催した

2 専門職としてのキャリア継続支援  
2-3 継続教育の充実事業

実施内容

- 1 質の高い看護人材を育成するラダーと連動した継続教育の推進
- 2 看護実践に活かされる研究の支援と香川県地域包括ケアシステム学会参加の推進

成果(進捗報告)

- ラダーと連動した継続教育を企画・実施
- 看護実践に活かされる研究研修の企画・開催
- 香川県地域包括ケアシステム学会の開催

実施内容

1 質の高い看護人材を育成するラダーと連動した継続教育の推進

- 1) JNAラダーの各レベル到達のための研修については、令和4年度に引き続き実践スキル向上を図り、看護ケアに活かせる内容の14研修を継続企画した。定員充足率80~100%超えの研修が11研修であり、受講申込者数は869名であった
- 2) 「フィジカルアセスメント」「感染管理」研修については、ラダーⅡ~Ⅳでステップアップを目的として企画・開催した

2 看護実践に活かされる研究の支援と香川県地域包括ケアシステム学会参加の推進

- 1) 香川県地域包括ケアシステム学会に看護職が多数参加できるよう推進した
- 2) 研究指導者育成につながる研修を1研修企画し定員充足率73%であった。研究の個別指導研修については指導者も参加できるよう企画したが、指導者の研修参加はなかった

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成  
3-1 特定行為研修・JNAラダーの普及推進事業

実施内容

- 1 特定行為研修受講推進のための取り組み
- 2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み

成果(進捗報告)

- 特定行為に係る研修制度「新たな認定看護師制度」等の情報提供
- JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のため、研修計画及び情報提供の実際
- 看護師職能委員会 I 企画の交流会を通して、動機づけ評価における課題と対策について検討

実施内容

1 特定行為研修受講推進のための取り組み

- 1) 特定行為研修受講推進に向けた情報提供  
日本看護協会から発信される情報を提供・広報した
- 2) 特定行為研修修了者の役割や活動範囲についての理解を得るため、実践活動報告の実施、日本看護協会から発信される情報を提供・広報した

2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み

- 1) 施設や職場で活用可能なラダーを用い、全ての看護師に共通する看護実践能力の育成と保証を目的とし、看護師職能委員会 I による交流会を開催した。2施設の取組み状況を共有した。
- 2) アドバンス助産師の認定（再認定を含む）者の増加を推進する  
CLOCMiP®レベルⅢ申請に必要な必須研修「法的責任を踏まえた助産記録について」を令和6年2月24日開催し、47名の参加があった  
2023年度末現在、アドバンス助産師登録数は118名であった



3 看護職の役割拡大の推進と人材育成  
3-2 感染管理認定看護師養成確保事業

実施内容

- 1 感染管理認定看護師教育機関の運営
- 2 感染管理認定看護師の確保

成果(進捗報告)

- 感染管理認定看護師教育B課程の運営について、カリキュラムに沿って計画どおり実施
- 次年度の感染管理認定看護師教育B課程の開講について周知

実施内容

1 感染管理認定看護師教育機関の運営

令和5年度、感染管理認定看護師教育機関として感染管理認定看護師教育B課程を開講し13名の受講生が入学した。カリキュラムに沿って、医師、薬剤師、感染管理認定看護師による講義及び実習が修了

令和6年3月から県内9施設の協力のもと実習が開始となり、専任教員による施設訪問を実施。必要に応じ、教員会、入試委員会、管理委員会を開催

2 次年度感染管理認定看護師養成機関開講の周知

- 1) 募集用のチラシを作成し、看護だより等と一緒に広く周知を行った
- 2) 協会のホームページ内に開講日程等を掲載し、広報した

※令和6年度の感染管理認定看護師教育B課程受講申し込み期間

令和6年2月5日～3月15日、定員 15名

4 地域における危機管理体制の強化  
4-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備

実施内容

- 1 大規模災害発生時における看護支援活動の基盤整備
- 2 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

成果(進捗報告)

- 日本看護協会が示す新たな災害支援ナース養成研修を開催
- 携帯用品、在庫確認等平常時からの体制整備の実施
- 香川県が実施した大規模地震時医療活動訓練に参加

事業内容

1 大規模災害発生時における看護支援活動の基盤整備

- 1) 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練による災害支援活動の体制整備  
令和6年1月30日～2月1日までの期間での実施予定であったが、能登半島地震への対応を考慮し、中止となった

2) 新たな災害支援ナースの養成研修

- (1) 災害支援ナース養成研修説明会  
日程：10月7日(土) 参加者：68名
- (2) 災害支援ナース養成研修(オンデマンド研修)  
日程：10月23日(月)～ 受講者：79名
- (3) 災害支援ナース養成研修(集合研修)  
日程：令和6年1月13日(土)・20日(土) 受講修了者：70名

2 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

- 1) 災害時備蓄品と災害支援ナース携帯用品の在庫確認と整理の実施
- 2) 香川県が実施した大規模地震時医療活動訓練への参加  
日程：9月30日(土)  
従事：3名

#### 4 地域における危機管理体制の強化 4-2 感染症対策の整備

##### 実施内容

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応
- 2 平常時から、感染症発生時の対応・体制の整備

##### 成果(進捗報告)

- クラスタが発生した高齢者施設等に感染管理認定看護師の派遣調整を行い、感染の拡大を防止
- 新型コロナウイルス感染症5類移行後の入院調整等業務の実施
- IHEATの人材確保及び登録管理

#### 実施内容

##### 1 新型コロナウイルス感染症への対応

- 1) 県や市からの要請により高齢者施設や医療機関等に感染管理認定看護師を派遣し、各施設の感染管理体制の整備を支援  
高齢者施設 2施設  
医療機関 1施設
- 2) 香川県新型コロナウイルス感染症連携支援窓口に係る対応人材派遣調整業務の実施  
期間：5月8日～9月30日  
会場：香川県感染症対策課内  
内容：電話相談による対応  
従事：1～2名/日
- 3) 潜在看護職等に新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）への登録  
勸奨及び研修会の開催  
研修会 令和6年3月9日(土) 9：30～12：00 参加者：42名

##### 2 平常時から感染症発生時の対応・体制の整備

- 1) 感染管理認定看護師登録名簿の整理及び緊急時の連絡窓口の整備
- 2) IHEAT登録者の登録管理